

音楽科 年間指導計画（1年）

| 学校で育成を目指す 資質・能力 | | 学習の基盤となる資質・能力 | | | | | | | 現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力 | | | | | | | |
|----------------------|-------------------------|---|---|--|---------------------|--|---|--|--|--|--|--|--|--|-------------------|------------|
| | | ＜言語能力＞ | | | | | | | ＜自分づくり＞ | | | | | | | |
| 音楽科と関連付けた 資質・能力 | | 感じたことを言葉にする力 | | | | | | | 豊かな表現を工夫する力 | | | | | | | |
| | | 相手の思いを受け止めて聞く力 | | | | | | | 伝え合うことで集団を発展させる力 | | | | | | | |
| | | 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 | | | | | | | 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 | | | | | | | |
| 学習指導要 領における 目標 | 知識及び技能 | ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 思考力、判断力、表現力等 | ・音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 学びに向かう力、人間性等 | ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8・9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 時数合計 | | | | |
| 1年 | 中学校の音楽の学習について | 校歌を覚えよう 思いをこめて歌おう | 音楽の特徴に注目しながら情景を思い浮かべよう | 曲想を感じ取って、表現を工夫しよう | 音のつながりの特徴をとらえよう | 日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って魅力を味わおう | 音のつながりの特徴を生かさそう | 曲想やパートの役割を感じ取って、表現を工夫しよう | 日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう | 曲想を感じ取って、表現を工夫しよう | 曲想と音楽の構造との関わりを理解し、その魅力を味わおう | 日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう | 思いを込めて合唱しよう | 曲の構成や曲想の変化を生かして、表現を工夫しよう | イメージと音楽との関わりを感じ取る | 標準授業時数：45h |
| | 配当時間 | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 | 2 | 6 | 2 | 2 | 3 | 2 | 4 | 4 | |
| 資質・能力の 三つの柱 | 知識及び技能 | 〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。 ～知識～ 【歌唱】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり (イ)声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり 【器楽】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)楽器の音色や響きと奏法との関わり 【音楽づくり・創作】について理解すること (ア)音のつながり方の特徴 (イ)音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴 【鑑賞】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ウ)我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性 ～技能～ 【歌唱】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能 【器楽】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能 【音楽づくり・創作】について身に付けること 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること | | | | | | | | | | | | | | |
| | 思考力、判断力、表現力等 | 〔共通事項〕 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること 【歌唱】について ・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること 【器楽】について ・器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること 【音楽づくり・創作】について ・創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること 【鑑賞】に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の項目について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと (ア)曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ)生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ)音楽表現の共通性や固有性 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 学びに向かう力、人間性等 | 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容（教材） | オリエンテーション | 校歌 We'll Find The Way | 和声と創意の試み第1集「四季」 | リコーダーについて 喜びの歌 | リズムゲーム | 日本の民謡 ソーラン節 アジアの諸民族の音楽 | 旋律をつくらう | 橘響祭クラス合唱曲 | 浜辺の歌 赤とんぼ | 聖者の行進 かつこう | 魔王 | 雅楽 平調「越天楽」 | 朝の風に 君をのせて | 主人は冷たい土の中に Edelweiss | 映画音楽を聴こう | |
| 主題の目標 | 学習の目標を確認し、年間の学習内容を把握する。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 | 音のつながり方の特徴について理解する。 | 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を工夫する。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | | |

音楽科 年間指導計画（2年）

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|------------------------------|---|--|--|------------------------|---|---|---|---|--|---|---|---|------------|----|
| 学校で育成を目指す 資質・能力 | | 学習の基盤となる資質・能力 | | | | | | | 現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力 | | | | | | |
| | | <言語能力> | | | | | | | <自分づくり> | | | | | | |
| 音楽科と関連付けた 資質・能力 | | 感じたことを言葉にする力 相手の思いを受け止めて聞く力 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 | | | | | | | 豊かな表現を工夫する力 伝え合うことで集団を発展させる力 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 | | | | | | |
| 学習指導要 領における 目標 | 知識及び技能 | ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 思考力、判断力、表現力等 学びに向かう力、人間性等 | ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 | | | | | | | | | | | | | |
| | | ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。 | | | | | | | | | | | | | |
| 月 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8・9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 時数合計 | | |
| 2年 | | 年間の学習を把握しよう 曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう | 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう | 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう | 曲想と曲の構成を感じ取って、表現を工夫しよう | 日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう | 音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう | パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫し、仲間とともに表情豊かに合唱しよう | 曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう | 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう | 歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう | オペラに親しみ、その魅力を味わおう | 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう | 標準授業時数：35h | |
| 配当時間 | | 1 | 3 | 3 | 2 | 1 | 3 | 1 | 5 | 2 | 4 | 3 | 4 | 3 | 35 |
| 資質・能力の 三つの柱 | 知識及び 技能 | 〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。 ～知識～ 【歌唱】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり (イ)声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり 【器楽】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり (イ)楽器の音色や響きと奏法との関わり 【音楽づくり・創作】について理解すること (ア)音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴 (イ)音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴 【鑑賞】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ウ)我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性 ～技能～ 【歌唱】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能 【器楽】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能 【音楽づくり・創作】について身に付けること 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること | | | | | | | | | | | | | |
| | 思考力、判断力、表現力等 | 〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること 【歌唱】について 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること 【器楽】について 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫すること 【音楽づくり・創作】について 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫すること 【鑑賞】に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の項目について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと (ア)曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ)生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ)音楽表現の共通性や固有性 | | | | | | | | | | | | | |
| | 学びに向かう力、人間性等 | 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。 | | | | | | | | | | | | | |
| 内容（教材） | | オリエンテーション 翼をください 夏の思い出 | フーガ ト短調 | リコーダーについて 虹の彼方に | リズムゲーム | 郷土の祭りや芸能 世界の諸民族の音楽 | 旋律をつくらう | 橘響祭クラス合唱曲 | 荒城の月 サンタルチア | アンサンブル「美女と野獣」 | 歌舞伎「勧進帳」 | 歌劇「アイーダ」 | Joyful, Joyful 生活や社会の中の音楽 | | |
| 主題の目標 | | 学習の目標を確認し、年間学習内容を把握する。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 音のつながり方の特徴について理解する。 | 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともにそれらを生かして音楽をつくる。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。 | 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | | |

音楽科 年間指導計画（3年）

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|-------------------------|---|--|---|--------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|------------|
| 学校で育成を目指す 資質・能力 | | 学習の基盤となる資質・能力 | | | | | | | 現実的な諸課題に対応して求められる資質・能力 | | | | | | |
| | | <言語能力> | | | | | | | <自分づくり> | | | | | | |
| 音楽科と関連付けた 資質・能力 | | 感じたことを言葉にする力 豊かな表現を工夫する力 相手の思いを受け止めて聞く力 伝え合うことで集団を発展させる力 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 | | | | | | | 主体性・積極性 他者の考えや思いに対する受容性 自分らしさを発揮しようとする姿勢 自己肯定感 伝え合うことで自分の考えを深化させる力 | | | | | | |
| 学習指導要 領における 目標 | 知識及び技能 | ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 思考力、判断力、表現力等 | ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 | | | | | | | | | | | | | |
| | 学びに向かう力、人間性等 | ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。 | | | | | | | | | | | | | |
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8・9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 時数合計 | | | |
| 3年 | オリエンテーション | 日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう | 音楽の特徴や背景を理解し、その魅力を味わおう | 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう | 曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう | パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう | 音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう | 仲間とともに、表情豊かに合唱しよう | 音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう | 曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫しよう | 音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう | ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう | 仲間とともに表情豊かに合唱しよう | 仲間とともに表情豊かに合唱しよう | 標準授業時数：35h |
| | 配当時間 | 1 | 3 | 3 | 3 | 1 | 3 | 1 | 5 | 2 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1 |
| 資質・能力の 三つの柱 | 知識及び技能 | 〔共通事項〕 音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。 ～知識～ 【歌唱】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり (イ)声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり 【器楽】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり (イ)楽器の音色や響きと奏法との関わり 【音楽づくり・創作】について理解すること (ア)音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴 (イ)音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴 【鑑賞】について理解すること (ア)曲想と音楽の構造との関わり (イ)音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わり (ウ)我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性 ～技能～ 【歌唱】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能 【器楽】について身に付けること (ア)創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 (イ)創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能 【音楽づくり・創作】について身に付けること 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けること | | | | | | | | | | | | | |
| | 思考力、判断力、表現力等 | 〔共通事項〕 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことから感じたこととの関わりについて考えること 【歌唱】について 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること 【器楽】について 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫すること 【音楽づくり・創作】について 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫すること 【鑑賞】に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の項目について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くこと (ア)曲や演奏に対する評価とその根拠 (イ)生活や社会における音楽の意味や役割 (ウ)音楽表現の共通性や固有性 | | | | | | | | | | | | | |
| | 学びに向かう力、人間性等 | 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。 | | | | | | | | | | | | | |
| 内容（教材） | オリエンテーション | 花 花の街 | 組曲「展覧会の絵」 | リコーダーについて ピアノソナタ第8番 | リズムゲーム | 大地讃頌 | 旋律をつくろう | 橋響祭クラス合唱曲 | ポレロ | Let It Be Amazing Grace | ブルタバ（モルダウ） | ルールを守って音楽を楽しもう ポピュラー音楽を聴こう | 旅立ちの日に | 卒業式の歌 | |
| 主題の目標 | 学習の目標を確認し、年間の学習内容を把握する。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 曲想と音楽の構造との関わりや演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏する。 | 音のつながり方の特徴について理解する。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともにそれらを生かして音楽をつくる。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 | |